



学校だより

11月号

横浜市立大道小学校
令和4年10月31日



← 学校 WEB ページはこちらから

校長 加藤 和之

「学校運営協議会」

「大道ふれあい運動会」から一週間が経ちましたが、まだ余韻が冷めやらぬ感じがします。温かいご支援、ご声援をいただき、ありがとうございました。また、例年通り、たくさんの保護者の方や卒業生にお手伝いいただき、驚くほど早く後片付けが終わりました。重ねてお礼申し上げます。

閉会式で、「優勝旗・優勝杯・準優勝杯」を授与する際、赤白とも、応援団長、副団長の目には涙が溢れていました。当然「勝ち負け」があるので、「喜びの涙」「悔しい涙」になるとは思いますが、それだけではないはずです。「全力パワー」でやり遂げた達成感から溢れた涙、支え合った仲間たちを想う涙、いろいろな感情が詰まった涙だったのでしょうか。本当に一生懸命に取り組んだからこそ溢れた涙....、こんなにも尊い、美しい涙は他にあるのでしょうか。私は、このような場面に立ち会えたことを幸せに思いました。

本校では、今年度から「学校運営協議会」が立ち上がり、第1回目が今月開催されます。

本校には、今まで「まちと共に歩む学校づくり懇話会」がありました。いつも教育活動にご協力いただいている地域の皆様に現在の学校の様子をお伝えしたり、地域での子どもたちの様子をお聞きしたりするなど、様々な情報交換ができる有意義な会になっていました。それをもう一歩進めたのが、「学校運営協議会」となります。

「学校運営協議会」は、法律に基づき、教育委員会により任命された委員が、学校運営と、そのために必要な支援について協議する合議制の機関です。委員は保護者や地域の方の代表などから任命されますが、一番大きな役割は、校長が作成する「学校運営の基本方針」について「協議、承認」することです。その際、委員は、校長または教育委員会に対し、意見を述べることができます。

協議会では、「学校運営の目標やビジョン」、「学校が目指す子ども像」、「学校が抱える課題」などを全員で共有します。そして、これらをもとにしながら、保護者または地域が行うこと、協働することを確認し合いながら、「学校運営の基本方針」を協議、承認していきます。

ですから、ここで言う「承認する」とは、ただ「この方針でいいでしょう。」というのではなく、「この方針で、一緒に取り組んでいきましょう。」、言い換えると、「OK」ではなく「Let's」ということになります。まさに、学校が保護者、地域などと「協働」しながら学校運営を進めていくということ、「社会総がかり」で子どもたちを育てていくということが目的です。

大道小には、今まで多くの皆様方によって育まれてきた「風土」「良さ」があります。私たちは、これを未来につなげていかなくってはなりません。そのためにも、この「学校運営協議会」を上手く機能させていきたいと思えます。スタート当初は試行錯誤があるとは思いますが、皆様にご協力をいただきながら、充実したものにしていきたいと思えます。今後、「学校だより」等で、協議の内容などをお伝えしていこうと思っています。